

出会ってから初期の頃の二人の相性

出生時における**女性の金星**が入っている星座と、**男性の火星**が入っている星座は、**1つの星座をおいて離れていて**、一言でいえば、『**同胞愛**』といえます。

つまり、2人が出会って、最初のころは、相手に対して仕事上のアドバイスをしたり、アドバイスをされたりというところからスタートします。メールや電話でのやり取りも、ごく普通の必要最低限の内容からスタートします。出会った瞬間に強烈に惹かれあうということはありません。しかし、相手の声の波動、メールの文面から感じる温かさ、そういうものをお互いを感じるようになり、変化が生まれるのです。やがて、お互いの弱みを見せ合うようになり、これからの人生に必要な特別な異性だと認識するようになります。

プラトニックラブから肉体関係に発展した場合の相性

1度肉体関係をもったあと、男性は、女性の肉体を愛し、女性は男性の全てを深く愛するよう変化していきますが、その変化のあり方が、2人の相性となるわけです。占星学では、肉体関係はお互いの火星で見ます。出生時における**女性の火星**が入っている星座と、**男性の火星**が入っている星座が真向かいにあって、正反対の位置にあります。

つまり、2人の相性は、交際が進むにつれて、お互いの愛情表現の違いが大きくなってくる関係です。とくに、セックス観の違いが際立ってきます。愛する気持ち自体は失われるわけではありませんが、もともと性と愛に関する価値観が異なるのです。ですから、お互いに相手の価値観を学び合い、自分の欲求が満たされなくても相手に合わせていくという忍耐が必要になってきます。忍耐ができないと、やがて破綻を迎えます。

肉体関係をもって、3年経過したあとの相性

初めて肉体関係をもって、3年が経過すると、2人の相性は、生活面での相性へと変化してきます。その衣食住という日常生活におけるお互いの価値観が、次の段階の相性を決定するわけです。占星学では、家庭生活の相性はお互いの月で見ます。出生時における**女性の月**が入っている星座と、**男性の月**が入っている星座が**3つの星座をおいて離れています**。

つまり、2人が一緒に暮らした場合でも、その生活の感覚、物事の見方などには共通性があり、相手の考え方を尊重し合うような間柄です。お互いに、家庭を良くしていこうという気持ちがあり、奉仕しあえるカップルに進化していける相性です。この組み合わせの場合、子供が一人誕生して、子育てを協力して行うことによって、本当の意味でお互いの必要性を認め合うことができます。

最終的に魂と魂の相性はどうなるのか？

男女の愛は、肉体的な魅力や姿形を無視しては成立しません。しかし、同じ屋根の下で10年以上暮らすと、お互いの姿形は、どういふものであれ、慣れてきます。そして、それから、本当の意味で魂と魂との相性に变化していくわけです。占星学では、魂の相性はお互いの太陽で見ます。出生時における**女性の太陽**が入っている星座と、**男性の太陽**が入っている星座が**3つの星座をおいて離れています**。

つまり、2人の魂は、相手の生まれ育った環境や先祖のことを知れば知るほど前世からの因縁があると気がつく関係です。2人で共同でものごとを成し遂げていくと、

出会いから墓場まで2人の相性のすべて

沢尻エリカ 1986/04/08 と 高城剛 1964/8/18

やがて多くを語らなくても、少ない言葉で、お互いを理解し、癒しあい、魂が一体化していくのが特徴です。片方が寿命を迎えれば、もう片方も、寿命を迎えるという間柄になります。